

やさい週間情報(第25号)

平成29年9月29日(金)
全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	5,700~5,500	5,000~4,800	-	1本売り (2L・L) 498~398円	本県産中心に北海道産の販売。 本県、北海道産の入荷量は引続き多い上に、安価な転送品の出回りが多く、加えて着後すぐの品質不良が多く見られていることから、販売環境は悪くなっている。 来週以降も引続き総体量が多く滞荷が懸念される。そのため価格を下げながら荷動きの良化を図るとともに、消費宣伝会の実施により末端の荷動きの回復に努める。 引き続き、品質低下による腐敗や折れも見られることから、産地においては選別の徹底や荷扱いに注意をお願いします。
		A3L	5,700~5,500	5,000~4,800			
		A2L	5,200~5,000	4,700~4,500			
		A L	4,700~4,500	4,200~4,000			
		A M	4,500~4,300	3,800~3,600			
		B4L	4,700~4,500	4,700~4,500			
		B3L	4,700~4,500	4,700~4,500			
		B2L	4,400~4,200	4,200~4,000			
		B L	4,200~4,000	3,800~3,600			
		B M	4,000~3,800	3,500~3,300			
		C2L	3,800~3,600	3,500~3,300			
		C L	3,500~3,300	3,300~3,000			
名古屋	本県産 北海道産	A4L	5,200~5,000	5,000~4,800	多い	1本売り 598~498円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 品質不良が続き、仲卸も買い控える傾向が強まっている中、安価な転送品が出回っており、下位等級品を中心に荷動きの鈍い状況となっている。気温の低下から売場が狭まる中、売価も下がっておらず荷動きは悪く、厳しい販売が続いている。 来週以降も潤沢な入荷が見込まれており、末端の動きも大きくは変わらないことが予想されるため、下げ基調での販売となる見込み。
		A3L	5,200~5,000	5,000~4,800			
		A2L	4,500~4,300	4,300~4,000			
		A L	4,200~4,000	4,000~3,800			
		A M	3,800~3,500	3,500~3,300			
		B4L	4,500~4,300	4,300~4,000			
		B3L	4,500~4,300	4,300~4,000			
		B2L	4,000~3,800	3,800~3,500			
		B L	3,500~3,300	3,300~3,000			
		B M	3,300~3,200	3,200~3,300			
		C2L	3,500	3,300~3,000			
		C L	3,000	3,000~2,500			

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	5,000～ 5,000～ 4,500～ 4,500～ 4,300～ 4,300～ 3,800～ 3,500～ 3,300～ 3,000～	4,800～ 4,800～ 4,300～ 4,000～3,800 4,300～ 4,300～ 3,800～ 3,500～ 3,300～ 3,000～		カット 88～59円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 安価な転送品の出回りおよび北海道産・本県産の増量と、引続きイタミが見えていることから、荷動きは鈍化しており厳しい販売となっている。また、イタミについては発生部位が広く、在庫を持ちたがらない傾向が強くなっている。 来週についても、価格は弱含み推移となる見込みだが、末端売価も下がっているため、消費宣伝会を積極的に開催し荷動きの回復に努める。
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	5,800～5,600 5,800～5,600 5,200～5,000 5,000～4,800 5,000～4,800 5,000～4,800 4,700～4,500 4,400～4,200 3,800～3,600	5,500～5,300 5,500～5,300 5,000～4,800 4,700～4,500 4,700～4,500 4,700～4,500 4,200～4,000 4,000～3,800 3,500～3,300		カット 100g 88～68円	ながいも全体的に流通量が増となっている中、売場の狭さに加え、安価な転送案内等も多く、価格は下げ基調で推移している。 価格を下げたことによって、徐々にではあるが売価も下がってきているが、依然として発注量が少なく、月末も絡んで荷動きの鈍さは変わらない。 来週末には連休があるが、特売等がないことから発注量に変化はなく、弱めの販売が続く見込み。
東北	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	5,500～ 5,500～5,300 5,000～4,800 4,500～ 4,500～ 4,500～4,300 4,200～4,000 4,000～ 3,800～3,700 3,500～	5,500～ 5,500～5,300 5,000～4,800 4,500～ 4,500～ 4,500～4,300 4,200～4,000 4,000～ 3,800～3,700 3,500～	なし	1本売り 480～円 カット 100g 84～78円	本県産中心の販売。 本県産の入荷量が増量となったこと、気温の低下から荷動きも鈍くなっていることから、市況は全体的に弱含み推移。 来週については、東北市場への入荷は変わらないものの、荷動きの緩慢な状況は続くものと思われ、市況は弱保合推移の見込み。

品名 にんにく No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L A M	2,500~2,300 2,000~ 1,800~1,700	2,500~2,300 2,000~ 1,800~1,700	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	本県産中心の販売。 本県産の入荷は非常に少なく全体的に不足感が見られ、引き合いの強い状態が続いている。出荷比率の低い2L級は強めの展開だが、出荷比率の高いM級についてはやや弱めの相場展開となっている。 比較的M級の入荷が多いため、ながいもの宣伝会に絡めた企画提案を行いLM中心の販売環境づくりに努める。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,400 2,200 2,000~1,800 2,200 2,000 1,800~1,600	2,600~2,400 2,400~2,200 2,000~1,800 2,400~2,200 2,200~2,000 1,800~1,600	少ない	L 1 P 298~198 円	本県産中心の販売となっている。 植付け作業や稲刈り等によって、出荷量が少ない状況が続いており、比率の少ない2L・L級については強めの販売となっているものの、入荷の多いM級については弱含みでの販売となっている。 来週以降については、不足感が続く見込みから、価格については一段上げての販売が見込まれる。
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,500~ 2,400~2,000 1,800~	2,500~ 2,400~2,000 1,800~		L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 入荷が少ないことから、引合いは非常に強い状況となっている。また、全体量の少なさから、例年より発生比率の高いM級についても注文が増えてきており、在庫は解消されつつある。 来週についても、入荷量は少ないことから同様の傾向が続く見込み。
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,400~2,200 2,200~2,000 1,700~1,500	2,400~2,200 2,200~2,000 1,700~1,500			本県産の入荷がほぼなく、価格は堅調に推移しているが、量販店への手当てができない状態となっている。 売り場は、国産に加え中国産・スペイン産の売場が拡張され、メキシコ産の売込みもある。 当面現状の状態が続き、引合いは強いものの、本県産の不安定な入荷量に伴う単価高が懸念される。
東北	本県産	A 2 L A L A M	2,500~ 2,200~2,000 1,800~	2,500~ 2,200~ 1,800~	なし	L 1 P 298 円	引続き、県内市場以外の入荷が無く、不足感が非常に強い。発生率の少ない2L級の引合いが強いが、入荷量が少なすぎるためL級の引合いも強まっている。 本県産の入荷が回復しつつ10月下旬までは、市況は強保合での販売となる見込み。

品名 ご ぼ う No. 1

事務所	主産地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 群馬県産	本県産 A 2 L A L A M 群馬県産 A M	1,600~1,500 2,000~1,800 2,200~2,000 1,800~1,600	1,600~1,500 2,000~1,800 2,200~2,000 1,800~1,600			<p>関東近在産中心に本県産の販売となっている。</p> <p>先週から引き続き、総体量は多くはないが、業務関係については、群馬県産・茨城県産の在庫を持ちながらの販売となっていることから、3L、2L級を中心にやや弱め、LMについては保合いでの販売となっている。</p> <p>量販店の売場は徐々に秋商材へと切り替わっており、本県産の出荷が本格化を迎える前に、本県産への切り替えを図るため継続的な出荷をお願いします。</p>
名古屋	本県産 群馬県産	A M A 2 M A S A 2 S	2,400 2,400~2,300 2,100~2,000 1,700~1,600	2,400 2,400~2,300 2,100~2,000 1,700~1,600			<p>本県産および北海道産中心の販売となっている。</p> <p>太物については北海道産、細物については本県産中心の売場となっている中、入荷がやや少ない状況が続いている。2M2PまたはS3Pが末端での定番となっているが、気温の低下に伴う売場の拡大もあり堅調な販売が続いている。</p> <p>来週以降も出荷量が増えきらない見込みとなっているため、価格は概ね保合となる見通し。</p>
大阪	北海道産 本県産	A 3 L A 2 L A L A M A 2 M A S A 2 S	1,400~ 1,600~ 1,800~ 2,200~2,000 2,200~ 2,000~ 1,800~	1,400~ 1,600~ 1,800~ 2,200~ 2,200~ 2,200~ 1,800~			<p>北海道産・本県産の販売。</p> <p>業務関係で抱えていた太物の在庫も解消されつつあることから、太物の荷動きは良化してきており、S級・2S級は入荷の割合が低い他階級に比べると引合いは特に強く、全体的には保合での販売となった。</p> <p>来週については、前段産地の入荷が減っていることと、北海道産の入荷が減少するとの予想があることから、価格は強含みでの推移となる見込み。</p>
九州	本県産	A 2 L A L A M	1,900~1,700 2,200~2,000 2,500~2,300	1,900~1,700 2,200~2,000 2,500~2,300			<p>現在、本県産の入荷が始まったが、量販店の売場の中心は九州各産地となっている。</p> <p>鹿児島県産は概ね終了、宮崎県産は10月に入っても残量はあるが、太物中心に加えヤケ・虫害品が多く、引合いは弱い。</p> <p>本県産の入荷はまだ増えておらず、また、日中の気温が高いことから、ごぼうの売場は現状維持となっているが、本県産への早期切替えを図り、売場の確保に努める。</p>

品名 ご ぼ う No. 2

東 北	本 県 産	4 k g	700~600	700~600			<p>本県産および群馬県産の販売。 引続き本県産の入荷量はまだ少ない中、前段産地の群馬県産の残量が太物中心の入荷となっており、3L、外品など、加工向けの階級を中心に弱含み推移となっている。 ただ、M級など量販店向けの階級については比較的荷動きは好調。 来週についても、本県産の入荷はまだ増量とならないことから、市況は保合推移の見込み。</p>
	群 馬 県 産	A 3 L	800~700	800~700			
		A 2 L	900~800	900~800			
		A L	1,000~900	1,000~900			
		A M					

品名 だ い こ ん

事務所	主 産 地	主 力 級 等	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫 状 況	小売り 状 況	販 売 状 況
東 京	本 県 産 北 海 道 産	A 2 L A L	700~ 600 800~ 700	600~ 700~	—	1 本 198~178 円 ハーフカット 98 円	<p>北海道産中心に本県産の販売となっている。 北海道産、本県産共に入荷の多い状況は続いており、2L級中心の入荷で、相場については弱含みで推移した。 来週についても、引続き北海道産の入荷が多い中で、関東近在産についても出荷量が増量していることから、総体量の多い状況が予想され、来週についても弱めの相場展開が見込まれる。</p>
名 古 屋	本 県 産 岐 阜 県 産 北 海 道 産	A 2 L A L	700~ 600 800~ 700	600 700		1 本売り 198~158 円	<p>本県産および北海道産中心の販売となっている。 本県産は生育が遅れていた分が徐々に増量となる中、北海道産についても潤沢な入荷が続き、比率の高い2L級を中心に下げ基調での推移となった。 来週についても、本県産・北海道産ともに安定した入荷が見込まれる中、末端の動きも大きく変わらない見込みから弱めの販売が見込まれる。</p>
東 北	本 県 産	平 場 A 2 L A L 高 冷 地 A 2 L A L	700~500 800~700 1,000~800 1,100~	700~500 800~700 1,000~800 1,100~	—		<p>本県・北海道産中心の販売。 本県産の入荷量が微増となったこと、北海道産についても、平年であれば入荷量が減少する時期に増加となっていることから、市況は下げ基調での推移となった。 来週についても、各産地入荷量は変わらないことから、市況は軟調推移となる見込み。</p>

品名 こ か ぶ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 関東近在産	A2L A L 5玉結束	800～700 800～700 80～50	800～700 800～700 80～50			<p>本県産中心に関東近在産の販売。 本県産については順調な入荷量となったが、台風の影響による品質不良が相次いでいることと、関東近在産の入荷も増量基調となっており、総体量は増えてきているため非常に厳しい販売が続いている。 今後、品質については回復傾向となるが、関東近在産への切替も進んでいることから、厳しい販売が見込まれる。</p>
名古屋	本県産 石川県産 富山県産	A3L A2L	1,000～900 800～700	900～800 700～600			<p>本県産・石川産・富山産中心の販売となっている。 本県産については、当初の見込みよりも多い入荷となった中、末端の売場が他県産に切替わりつつあり、下げ基調での販売となった。 来週についても、本県産は品薄傾向が続く見込みとなっているものの、他産地の出回りがさらに多くなり、大玉比率も高まってくることから、本県産は弱めの販売が見込まれる。</p>
大阪	本県産	A3L A2L A L	1,200～900 1,500～1,000 1,000～800	1,200～900 1,500～1,000 1,000～800			<p>本県産中心の販売。 大玉の発生率が高まり増加傾向となっているが、台風等による玉の褐変が見られており、安定した入荷ではあったものの、価格については弱含み推移となった。 来週についても、価格は概ね保合で推移する見込み。</p>
東北	本県産	A2L A L	900～800 900～800	900～800 900～800			<p>本県産の入荷は安定した入荷が続いているものの、品質不良が散見されており、市況は弱含み推移となった。 来週についても入荷量は大きく変わらない見込みとなっており、市況は弱含みで推移する見込み。</p>

品名 トマト

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M A S	1,500~1,300 1,600~1,400 1,500~1,300	1,500~1,300 1,600~1,400 1,500~1,300			<p>東北産、北海道産と関東近在産の抑制物の販売となっている。</p> <p>今週については引続き各東北産地は少ないが、関東近在産の入荷は多い状況が続いている。安価な転送品や品質不良が見られ、弱保合の推移となった。</p> <p>来週後半には、関東近在産の数量は一時減少することが予想されるため、販売環境の回復が見込まれるが、引続き選果選別については十分に注意して対応していただきたい。</p>
	関東近在産	A M	1,200~1,000	1,200~			
名古屋	本県産 岐阜産	A L A M	1,600~ 1,600~	1,600~ 1,600~			<p>本県産・岐阜県産中心の販売となっている。</p> <p>本県産については、不安定な天候となったことから数量はやや減少となったものの、他県産は安定した出回りとなったことから、概ね保合での販売となった。</p> <p>来週以降も、本県産の入荷は少なめで推移する見込みとなっているものの、末端の売場も大きく変わらない見込みから、概ね保合での販売が見込まれる。</p>

品名 ミニトマト

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M 3Kバラ	150~130 160~140 1,800~	140~120 150~130 1,800~			<p>東北産、北海道産中心に関東近在産の販売。</p> <p>関東近在産の入荷が急増し、量販店等への提案は高い価格帯だったため、発注量は少なく、パック品・バラ品同様に荷動きの鈍い状況となっている。先週から一転して厳しい販売環境となった。</p> <p>来週についても各産地順調な出荷が見込まれることから弱含みでの販売となる見込み。</p>

品名 ピーマン

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	東北産 本県産	A L 袋	1,000~800 60~ 50	1,000~800 60~ 50			<p>東北各産地中心に茨城県産の販売。 岩手県産の増加および茨城県産秋作についても入荷が増量傾向となっている。その為バラ品、袋同様に価格を下げながらの販売となっている。 各産地入荷が増量しており、引続き市況は弱めで推移し、相場展開となる見込み。</p>
大阪	本県産 福島県産 兵庫県産	バラ A L 150g袋 A L	1,200~1,000 60~	1,100~1,000 60~			<p>本県産中心に福島県産・兵庫県産の販売。 バラの入荷割合が引続き高いことから、150g袋に比べると荷動きは鈍い状況となっている。また、バラ・150g袋を問わず赤果の混入が非常に多いことから、価格は一段下げでの推移となった。 来週についても、同様の傾向が続き、価格は概ね保合推移となる見込みだが、引続き選果の徹底をよろしく願います。</p>

品名 露地ねぎ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L	1,500~1,300 1,800~1,600	1,500~1,300 1,800~1,600			<p>東北各産地中心に、新潟産の販売。 各産地とも品質面については安定しており、順調な販売が続いている。本県産の入荷量が微減となっているが、他県産は2L中心の出荷となっており、2L級がやや厳しい状況。 来週についても東北産地は稲刈り等から、入荷量が減少すれば相場は保合の販売となる見込み。本県産の売場の確保のため、引続き選別の徹底および検品の強化をお願いします。</p>

品名 きゅうり

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	Aコン	1,200~1,000	1,200~1,000			<p>東北各県産中心の販売となっている。</p> <p>各東北産地において出荷量は多くないものの、関東近在産の抑制作については順調な入荷が続いており、日々価格を下げながらの販売となった。</p> <p>消費地の気温も低下してきており、量販店は徐々に秋商材への切替が進んでいることから、総体量は決して多くはない中ではあるが弱めの相場展開が予想される。</p>